

しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四

六三四たより



しゃかいふくしほうじんむさしほうじんほんぶ 社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 とうきょうとこだいらしなかもち ばんち 東京都小平市仲町364番地1

T E L 042-343-1895 F A X 042-346-0283 e-mail musashi@musashi1895.jp HP-URL <http://musashi1895.jp/>

じぎょうしよいちらん 事業所一覧

ちいまいせんぶ せいかつかいごじぎょう 地域支援部 生活介護事業

- ・生活リハビリセンター六三四
- ・生活リハビリセンター雅
- ・生活リハビリセンター絆

せいかつしえんぶ きやうどうせいかつえんじよじぎょう 生活支援部 共同生活援助事業

- ・六三四ホーム
- ・お結び（短期入所）

そうだんしえんぶ 相談支援部

- ・計画相談支援 障害児相談支援 事業
- ・スカイサポートセンター

ねんどとうしよ 年度当初にあたり

どくしよ “読書のすすめ”

かんじ こむろけんじ 監事 小室謙二

明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって幸多き一年でありますように心から祈念いたします。昨年暮れから、新年にかけて9連休という長い休暇をいただきました。当然、入所施設や、グループホーム等の生活施設はこの連休とは関係なく利用者支援にあたられていた事とお察しいたします。私事ながら、一昨年8月から取り組んでいた「折り鶴一万羽」が終了し、この連休は久しぶりに「読書」に浸りました。「深夜特急全6巻」沢木耕太郎・・・アジアからロンドンまでの乗り合いバスの旅「寡黙なる巨人」多田富雄・・・国際的な免疫学者の脳疾患の経験とその闘い「吉村昭歴史小説集成」・・・吉村昭吉川英治賞などを受賞した歴史小説家等々中でも、お薦めは「吉村昭」とその作品「吉村昭歴史小説集成全8巻」です「吉村昭」を、ひよんな機会（高校の後輩が出演した映画「漂流」の原作者）で知り、その作品を読み漁っていたところ、20年ほど前に清瀬の図書館で「歴史小説集成」を見つけその後、5年に一度の割合で、半年余りかけて読んでいます。第一巻の「桜田門外の変」から、第八巻の「ポーツマスの旗」まで、江戸後期から明治にかけて、日本の歴史、文化、文明に携わった人物を丹念に文献と関係する土地に足を運び、資料を読み込み、郷土史家の話を掘り起し、史実に基づき練り上げた文章を組み上げており、思わず背筋を正さずに読む事は出来ませんでした。この他に「冬の鷹」「ふおん・しいほるとの娘」「長英逃亡」「冬の花」「彦九郎山河」「落日の宴」など、その時々活躍した人々が、出来事が集録されています。「冬の鷹」には、「解体新書（ターネルアナトミア）」の翻訳に携わった人々、特に翻訳の中心人物であったにもかかわらず、杉田玄白の名声に比べると、その功績は評価されていない「中川淳庵」に焦点をあてて描かれている。

「長英逃亡」は、当時蘭学の第一人者であったが「高野長英」が、時の幕府の鎖国政策により、投獄され、学問を進めるために牢に火を放ち、逃亡生活を続けていたが、最後に捕縛され、処刑される運命をたどった生きざまが描かれています。「冬の花」には、江戸末期から明治にかけて大流行した「天然痘」の「種痘」培養と普及に命を賭して取り組んだ福井藩町医・笠原良策の生涯を描いた作品です。吉村昭は、晩年には「舌癌」を患い、数回の手術を重ねましたが、最後には自ら点滴の管や、測定器の線を抜き「凄絶な死」を選んだと伝えられています。価値観、人間性の多様性そして喪失等々いろいろなことがネットを通じて、瞬時に世間や世界に広まる時代になっています。だからこそ、自分を見つめ、物事を見つめ、本当に大切なものを探し求めることが、必要な時ではないだろうかと思うこの頃です。今は、「活字離れ」「本離れ」の風潮が強く、また、スマホで「小説」や「漫画」を楽しむことができますが、今一度、おきにいりの本を手に入れ、じっくりと読むことも大切かと思えます。令和2年の新年にあたり「読書のすすめ」です。

社会福祉法人 六三四 ご利用者・ご家族、関係者の皆様
「明けまして おめでとうございます」。

六三四の理事をさせていただいております、社会福祉法人 足立邦栄会 相談支援センターみずきの岩崎京子と申します。
令和と元号が変わり、初めてのお正月 皆様は、どの様にすごされたでしょうか？相談支援は、年中無休なので今年も独りくらしの利用者さん達と一緒にお正月を迎えました。六三四の理事にさせていただき数年経っていますが、今でもやる気(職員のやる気)は、ずっとずっと続いています。プラス、地域の皆様の今必要なこと、地域で困っている事に真正面からしっかり向き合い取り組んでいます。全てが出来るわけではありませんが、地域に貢献出来る様、日々努力しております。至らない部分ありますが、これからも皆様と共に考え、実行していく六三四をどうぞ応援してください。私もたくさん元気をもらい、がんばっていこうと思っております。フレー・フレー・六三四！！

年頭のごあいさつ

社会福祉法人六三四
山口 建

新年おめでとうございます。

社会福祉法人設立して2年が経過いたしました。これまで、社会福祉法人六三四は平成18年に制定された障害者自立支援法、平成25年に制定された障害者総合支援法に伴い生活介護事業・共同生活援助事業・短期入所事業・特定相談支援事業・共生型通所介護事業と必要不可欠な事業を創設、実施してまいりました。そのような中、地域課題として新たなグループホームの創設は重要課題であり、また当法人においても青粋ケアホーム創設時には多数の方々からのご要望、ご意見があり高いニーズでもありました。そのニーズの実現も目標に掲げ準備を進めてまいりましたが、この度新規グループホーム(彩ケアホーム)創設に関しまして、東京都福祉保健局より都内示の許可が下りました。これまで、地域で生活されている方々の新たな生きがい、新たな居場所また、意義のある普通の生活を基本指針に、事業の展開を行ってまいりましたが、更なる地域密着型施設、ニーズの実現に向けて努力し続けなければなりません。また、医療分野・高齢分野・障がい分野が協働する事が今後の制度改革の中では、必要不可欠であり大切なことだと実感しております。

今年は、更なる意義のある地域福祉を皆様と共に作り上げていければと考えておりますので、よろしくお願いたします。

リハビリ担当職員の挨拶

理学療法士 寺田 隆吾

現在、週3回の理学療法訓練を担当しております寺田です。今春で入職後2年となります。小平市在住、もうすぐ63歳になります。私が理学療法士を目指したのは遅く、30代半ばのことでした。大学中退後、ふらふらしていましたが、一念発起して(尻に火がついて?)、何とか療法士の養成校に入ることができました。夜間の4年制で、昼は病院のリハビリ助手をしながら通学をしました。勉強が好きなので5年かけて卒業しました。その後は急性期病院と老健施設(入所、デイケア)で脳血管障害、整形疾患や老年期のリハビリを経験してきましたが、一昨年、定年退職を迎え、六三四に入職いたしました。最初は、リハスタッフがひとりで、時間やスペース、設備の制約があり(平行棒も折り畳み式!)、今までと違う環境に戸惑いました。その後は介護、看護スタッフに助けをもらいながら、最近になりやっとペースがつかめてきたと思います。個人の特性を評価して、ある方には関節運動や筋力トレーニングで基礎的な身体機能を保ち、またある方には立位や歩行等の実用動作能力を身に付けてもらえるような、それぞれに適した訓練を目指していますが、正直、目に見えた結果を出すのは難しいことです。けれども、定期的にリハビリを行うことにより、利用者様が、身体的に良い状態を維持し、また精神的にも励みを持てるようになることは可能だと思います。私もその一助となれるよう、丁寧な対応を心掛けていきたいと思っています。「これ“で”良いリハビリ」が出来ているとは到底思えません、自分も老年期に入り(体が動きません!)、親の介護(週末に通っています)も経験したことで、利用者様に少しでも寄り添えるような「これ“でも”良いリハビリ」が行えるように努めてまいります。今後もしよろしくお願ひします。

今後の予定

2月10日(月)	絆 メンバー懇談会	3月17日(火)	六三四・雅 メンバー懇談会
2月11日(火)	建国記念の日・開所日	3月20日(金)	春分の日・開所日
2月17日(月)	六三四・雅 メンバー懇談会	4月17日(金)	六三四・雅 メンバー懇談会
2月24日(月)	天皇誕生日振替休日 ・開所日	4月24日(金)	六三四・雅・絆 たより発行
3月10日(火)	絆 メンバー懇談会		

(毎週月・水・木曜日) 個別理学訓練 (寺田PT)
(毎週火・金曜日) 個別言語訓練 (鳴海ST)

む さ し み や び き ず な ぼ う ね ん かい
 六三四・雅・絆忘年会

昨年（せいかつ）末に生活リハビリセンター六三四・雅・絆（むさし みやび きずな ぼうねんかい）で忘年会（おこな）を行いました。六三四・雅（むさし みやび）ではボランティア（かたがた）の方々によるマジックショーとハーモニカ演奏（えんそう）が行（おこな）われました。マジックショー（おも）では思わず（わら）笑い（ごえ）声（こゑ）が出る（で）ような物（もの）から「おお〜」という（おどろ）驚（こゑ）きの声（こゑ）が響（ひび）き渡（わた）るものまでさまざまなマジック（けいみょう）と軽（けい）妙（みょう）なトーク（も）で盛り（も）上げて（あ）いただき（ま）した。またハーモニカ演奏（えんそう）では一人（ひとり）で複数（ふくすう）のハーモニカ演奏（えんそう）を行（おこな）うなど、圧巻（あつかん）の演奏（えんそう）を披露（ひろう）して（く）ださ（い）ました。利用者（りようしゃ）様（さま）のリアクション（ひょうじょう）や表情（ひょうじょう）によ（よ）って曲（きょく）目（め）を（か）え（か）えるなどアドリブ（きょくもく）も効（き）か（せ）て（く）ださ（り）と、皆（みな）で手拍子（てびょうし）を（し）たり（く）ち（く）ず（く）ざ（ん）だ（り）一（い）っ（た）い（い）体（たい）とな（な）って（も）盛り（も）あ（あ）が（あ）り（ま）した。絆（きずな）ではゴスペル（だんたい）団（だん）体（たい）のディーバ（てんし）に（き）て（く）だ（さ）り（は）り（よ）く（は）り（よ）くある（あ）るゴ（ご）ス（す）ペ（ぺ）ル（る）を（ひろう）披露（ひろう）して（く）だ（さ）し（ま）した。全（ぜん）員（いん）が（し）ろ（い）し（やう）の（とう）い（つ）白（はく）の（てん）し（の）衣（い）装（さう）で（ま）る（ま）る（ま）る）で（ま）る（ま）る）天（てん）使（し）の（よ）う（う）で（し）た。お（お）昼（ひる）ご（ご）飯（はん）は（ら）く（ぜ）ん（ら）く（ぜ）ん）楽（ら）善（ぜん）さ（ん）の（お）い（い）味（み）し（い）オ（オ）ー（ー）ド（ド）ブ（ブ）ル（る）と（け）あ（あ）タ（タ）リ（リ）ン（ン）グ（ぐ）を（みな）皆（みな）で（たんのう）堪能（たんのう）し（ま）した。今（こん）後（ご）とも（も）こ（こ）の（の）よ（よ）う（う）な（な）た（た）の（の）楽（ら）しい（ぎやうじ）行（おこな）事（じ）（お）こ（こ）な（な）い（い）と（お）も（も）い（い）ま（ま）す（す）の（の）で、ど（ど）う（う）ぞ（ぞ）よ（よ）ろ（ろ）し（し）く（く）お（お）願（ねが）い（い）た（た）し（し）ま（ま）す（す）。下（した）の（の）写（しゃ）真（しん）は（むさし みやび きずな ぼうねんかい）六三四・雅・絆・お（お）昼（ひる）ご（ご）飯（はん）で（で）す（す）。

せいかつ 生活リハビリセンター六三四



せいかつ 生活リハビリセンター雅



せいかつ 生活リハビリセンター絆



ひる はん お昼ご飯

